

SSKP

わたしたちは、信頼と希望と愛の輪で社会をつなぎます



# いずみ

No.  
193

2019年6月

社会福祉法人 泉会

泉会事務局 〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 TEL03(5429)6721(代) FAX03(5429)6722  
info@izumikai.jp http://izumikai.jp/

一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月一、二、三、五、六、七の日十八回発行)  
二〇一九年四月二十六日発行(SSKP通巻第七一五号)



海と空とアルプスの風景の中で作業です(玉堤分場)

### ●本年度の聖句

主に望みをおき尋ね求める魂に主は幸いをお与えになる。  
主の救いを黙して待てば、幸いを得る。若いときに軛(くみ)を負った人は、幸いを得る。

(「哀歌」3章25―27節)



## 「はやぶさ2」に思う

理事長 佐分利 正彦



小惑星「リュウグウ」に接近し、様々な探索と実験を行っている「はやぶさ2」の成果が時を置いてマスコミで報道されます。先行する「はやぶさ」が小惑星「イトカワ」から多くの試練を乗り越えて帰還したことが記憶に残っていますが、これが2010年6月のことでした。「はやぶさ2」は2014年12月に打ち上げられたのですが、順調に打ち上げられたというニュースを私はほとんど忘れていました。

打ち上げから約3年経った今年に入ってから、「はやぶさ2」が3億キロ離れた「リュウグウ」に接近し、タッチダウンという方式で着陸して、岩石のサンプルを採取することに成功したと、続いて「インパクタ」と呼ばれる装置を用いて小さな「人工のクレーター」を作ることにも成功したことが報道されました。

こうした一つ一つの実験内容については、インターネットによって詳細に知ることができます。例えば、何故小惑星を調べることかという点、それは地球の成り立ちを解明するためであることや、「いとかわ」と「リュウグウ」は異なるタイプの小惑星なので、岩石も違うはずであることなど、興味深いものです。

「はやぶさ2」の探査は、いわばぶっつけ本番の、一回限りのものですが、今回はそれらが比較的順調に進められているようです。そこには、初代「はやぶさ」で得られた数々のデータの蓄積(失敗の経験も含まれる)が生かされていると言われます。

小惑星探査は一つのプロジェクトが、準備から探査機の帰還まで10年単位で進められるので、例えば初代「はやぶさ」と「はやぶさ2」とでは、従事する研究者・技術者にも少しずつ世代交代があるはずですが、引き継ぎがうまくいったことも成功の一因だろうと想像します。「はやぶさ2」が地球に戻るのには2020年ですが、期待して待ちたいと思います。

# 2019年度事業計画

## 法人本部

### 人財の定着促進

職員自身が福祉の仕事に魅力を感じて成長し、働きがいを感じられるように進めます。

#### 経営目標

- ・トータルな人財マネジメントを人事制度に沿って進めます。
- ・在職者への情報発信を行い、働きがいが高めます。また、広報活動へ現場職員を参画させます。
- ・管理職や指導的職員のリーダー層の育成を重視します。

## 泉の家

### 就労移行支援

【定員 6名】  
カフェ業務を通して就労準備

### 就労継続支援B型

【定員 25名】  
生活活動と就労場の提供

### 生活介護

【定員 20名】  
創作活動等

### 短期入所

【定員 3床】  
入浴、排泄及び食事等必要な介助を行う

### 感謝

「うれしい」とたのしいが見つかる場所」という事業所コンセプトの通り、利用者の皆様に満足感や達成感、やりがいを感じていただけるよう魅力ある施設づくりを目指していきます。

#### 経営目標

- ・稼働率アップを目指し、利用者の増員に向けた働きかけを行っていきます。
- ・有給休暇や残業時間の管理、休憩時間の確保を行い、働きやすい職場づくりを目指します。
- ・建て替えから10年目を迎え、施設内の修繕を計画的に進めていきます。

## 岡本福祉作業ホーム

### 就労移行支援

【定員 6名】  
就労に向けての活動

### 就労継続支援B型

【定員 10名】  
受託作業、官公需受託作業、自主生産品等

### 生活介護

【定員 24名】  
作業・創作活動・レクリエーション等

### 人権尊重

職員一人一人が人権の意識を持ち、個人の尊厳を守る考え方に立って支援を進めます。サービス提供に当たって、利用者、家族と話し合い、援護の実施機関と連携して、将来を見すえた必要な対応や改善をします。

#### 経営目標

- ・毎月の日の出舎会議やサービス向上検討会では、支援について話し合い、考えるとともに、安心安全な支援のための介護技術研修を年4回以上実施します。
- ・活動や日中活動支援のプログラムを充実させ、人財育成のしくみを再編するなど支援体制を見直します。

## 就労日の出舎

### 就労継続支援B型

【定員 20名】  
木工、受託作業、送迎サービス等

### 自身の力

利用者の人権の尊重を第一に、それぞれの障がいに関する合理的配慮に基づいた支援の体制やしくみに努め、利用者が作業活動を通じて自身の力を発揮できるよ

## 岡本福祉作業ホーム 玉堤分場

### 就労移行支援

【定員 6名】  
就労に向けての活動

### 就労継続支援B型

【定員 13名】  
クッキー作り等の自主生産品等

### 良質で安心・安全なサービス

利用者支援ガイドラインを基本とした支援を行います。地域における事業所の役割として、活動公開やボランティア体験、地域の方や学生が直接利用者・施設活動と触れ合う機会を提供します。本園と分場は共通の課題に取り組み一体的な経営を目指します。

#### 経営目標

- ・法人内外の施設交流を年間6回行います。
- ・マニュアルを見直し、再構築を行います。

## 相談支援センター おかもと

### 特定相談支援

サービス等利用計画の作成等

### 利用者の希望する生活

利用者に満足してもらえようサービス調整を行います。

#### 経営目標

- ・毎月の職場会議において、利用者や職員が共に安全衛生マニュアルの確認と理解をする時間を設け、安全意識向上の具体的な取り組みを続けます。また緊急時対応訓練を少なくとも年4回実施します。
- ・障害者就労生活支援センターや相談支援事業者、ハローワーク等と連携し、就労移行支援の強化を図ります。
- ・生産活動の充実を図るため、利用者、家族、関係機関と相談しながら将来を見すえた支援体制を構築します。

## 相談日の出舎

### 特定相談支援

サービス等利用計画の作成等

### 地域からの信頼

相談日の出舎では、地域から信頼される事業所であることをモットーに、サービス等利用計画の作成に留まらず、利用者がより自律できるような、また、ご家族がより不安のない生活が送れるよう、地域の事業所や行政との協力のもと

- ・ご本人、ご家族から丁寧に聞き取りを行います。
- ・地域の機関と協力し、利用者、家族が安心できるような複数での支援体制を構築します。
- ・地域のエリア運営会議等で、関係機関や他の事業所への情報収集や発信を行い、協力体制を築きます。

## コイノニアかみきた

### 就労継続支援B型

【定員 30名】  
パンや水耕栽培の作業、カフェ等

### 生活介護

【定員 20名】  
創造活動、運動、余暇活動等

### 2018年

2018年11月15日に、事業を開始しました。コイノニアとは「つどう」「共同」「一緒にはたらく」「一緒に食事する」という意味があります。今年度が本格実施となります。

#### 経営目標

- ・利用者のニーズへの柔軟な対応と障がい特性に合わせた支援を行います。
- ・地域に開かれた施設と安心を提供します。

## グループホームのぞみ

### 共同生活援助

【定員 6名】  
健康管理、身の回り介助、通所支援等

### 自律した「今」

利用者自身が考え、話し合い、決めていくことを支援の基本としていきます。利用者が楽しく、より自律した「今」を過ごせるよう、また、安心した「将来」が迎えられるよう、スタッフひとりひとりのスキルを高めていけるよう努めて参ります。

#### 経営目標

- ・昨年度好評であった利用者6名の希望する個別外出等を全員行けるようにします。
- ・研修計画に基づいた職員研修及び勉強会を年間12回実施します。



## 退任の挨拶

### 「39年間！感謝です」



泉会、泉の家で採用され39年間働かせていただきました。今までの人生の半分以上が、泉会との関わりになります。入職当時の泉の家は入所授産施設でした。4〜5人が一部屋の中で暮らし、畳一畳の空間で生活をされていました。その様な環境の中で生活をし、作業活動を行い、一人ひとりの一生懸命な姿はとても魅力に溢れていました。多くの利用者の方と、とても親しくさせて頂きました。何も分からない私に、やさしく声を掛けてくれ、毎日楽しく仕事が出来ました。海へ、山へ、初詣など休日と一緒に出かけました。それがあったからこそ、こんなにも長く働くことが出来ました。急に亡くなられた方や悲しい別れも、楽しい思い出以上に経験しました。それら一つひとつが、私には、宝物となって心の中にあります。管理職となり、なかなか利用者

の方々一人ひとりと、ご一緒にできる時間が持てない中ではありましたが、挨拶や雑談程度の中でも、親しく接していただけたことは、誠に嬉しい限りです。遠くの方から、「しせつちょうう」とお声掛けをいただいたとき、施設長になっ

ているんだなど実感させて頂いていました。それと同時に、上司や同僚の職員の方々にも、とても恵まれました。家族的な雰囲気の中で勤務させて頂きました。感謝もしきれません。ボランティアで関わって下さった皆様、ありがとうございました。

今後、再雇用での勤務となります。今しばらく皆様とご一緒にできること、一緒に活動するなど近いところでご一緒できることを楽しみにしています。今まで支えてくださった皆様、この場をお借りして、心よりお礼を申し上げます。

保坂 俊晴

## 就任の挨拶

### 「よろしくお願ひします」



20年程前に勤めていた企業を辞めた後、明確なきっかけは思い出せないのですが、「人の役に立つことを実感したい」「自分の色を出せる仕事がしたい」と思い立ち福祉の仕事を選びました。何故、その思いが福祉の仕事に結びついたのか、今となってはよく分かりません。ただ、以前の仕事の3倍以上の年月を働き続けていることを考えると、あまり説明のできないそのきっかけでも自分に合っている仕事に出会えたということ、その時の自分の選択は間違っていないのだと思えます。

よく思い出せないくらいきつかけで始めたこの仕事を続けているのは「仕事が面白い」と感じられる瞬間が多いこと、人との出会いに恵まれたことが大きな要因だと思っています。この二つの要因は密接に関係していて、良き人との出会いが、仕事を楽しく感じ

させ、楽しく仕事ができています。だからこそ、良き人たちと出会えたのではないかと感じています。特にこのコインニアかみきたに異動することが決まってからは、何もなるところから作り上げることの困難さとチームで協力しながら形にしていくことの楽しさを感じる機会が数多くありました。また、新たな出会いも多く、それとても楽しい体験でした。

この生まれたばかりの事業所になりたての施設長が就任します。なんとも心許ないかもしれませんが、お互いまだ伸び代があるとも考えられます。また、コインニアカみきたの職員は施設の立ち上げ時の多忙な中でもネガティブな思考に陥ることなく前向きに取り組める人材ばかりです。この前向きな職員、そしてなにより利用者さんたちと共にコインニアカみきたを皆の思い描く色に時間を掛けて染めていきたいと思えます。

越川 則行

## 日の出エリア施設だより

### グループホームのぞみだより



#### グループホームのぞみ 節分

2月7日、毎年の恒例行事である節分の豆まきを行いました。利用者さん達は、「豆の準備できた?」「忘れないでね!」などと、とても楽しみにしておられました。当日、リビングでは笑顔の利用者達。鬼(小林課長)が現れると、用意した豆を一斉に投げ、今年一年の無病息災をお祈りしました。鬼が倒れても、なお豆を投げ続けたりしてちよつと驚きましたが、笑いあふ



節分の風景

### 就労日の出舎だより

#### 就労日の出舎職場会議の様子

れる楽しい時間を過ごされました。今後ものぞみでは、ずっとイベントを、大切にして続けていきたいと思えます。(市川 美和)

就労日の出舎では、工賃支給日に、木工、受託、就労移行の3グループに分かれて、職場会議を開いています。先月分の収支報告や、平均工賃、受注状況などを話したのちに、作業の安全衛生マニュアルの項目に沿って、安全への取り組みについて皆で学んでいます。

また、利用者全員、一人一人にフリートークの場を設けています。発言内容は自由です。作業で頑張っていること、今後やってみたい作業、こうしてほしいなどの提案や意見などです。

利用者の発言の中には「頑張っ自分で作ったものを、今まで、お世話になった人や友人にあげたい」「缶バッチのピン付け作業を頑張っている」「ボール盤などの機械

### 日の出舎だより

#### 日の出舎2年目の畑

原稿を書いている今、日の出舎の桜はまだ咲きそうにありません。でも通所の送迎中には、蕾が今にも開きそうな桜の木を見ついたり、勢いよく伸びている土筆を見つけたり、春の訪れを強く感じます。

さて、日の出舎の中庭の畑も2年目を迎えます。利用者会で畑に何を植えるかと相談すると『ジャガイモ』『トマト』『キュウリ』『カブ』『ひまわり』などなど沢山の意見を頂きました。また職員がハーブティーで皆、休憩に丁度良いと賛成してくれました。今年は何れほど、中庭の畑で採れた野菜を提供できるかわかりませんが、力を合わせて頑張りたいと思います。

(中村 竜太)



時間を忘れて話し合い



日の出舎の畑2年目の春



### 泉の家だより

はじめての…

3月下旬にお隣の岡本福祉作業ホームにお邪魔し、「合同音楽祭」を行いました。泉の家からは「星に願いを」と「いずみのうた」を、岡本福祉作業ホームからは「おかもとハート」を披露していただきました。ギターで奏でる「おかもとハート」のアップテンポな曲調に、自然と手拍子が生まれました。最後にはファッションショーも見学させていただきました。

### 世田谷エリア施設だより



暖かく迎えて下さいました

利用者の皆さんは泉の家を出発する前は楽しみにしている反面緊張

張している様子でしたが、同級生や顔見知りの方々に会えて少し緊張もほぐれ、良い緊張感で発表出来たように思います。皆さん、笑顔で練習の成果を発揮し、交流会は大成功でした。



お互いに歌などを発表しました

泉の家と岡本福祉作業ホームとの交流会はお隣同士の施設でありながら今回が初めての試みでした。頑張って練習したものを外で発表し、見てもらう経験は利用者や職員にとっても良い刺激になり、今後の活力になると感じました。またこのような機会を設け、施設間交流を行っていただけらと思います。(高橋 晴香)

### コイノニアかみきただより

GHの美味しい夕食

毎日、食事の時間になると、「旨い!」「美味しい!」が、宇宙(そら)からも、地球(てら)からも聞こえてきます。

「グループホームこいのにあ」では、あのヨシケイと契約。国家資格である「管理栄養士」取得者10名を含む、総勢28名もの栄養士が考え抜いた豊富なメニュー。栄養バランスはもちろん、素材の季節感、ボリュームなども考えられ作成されています。



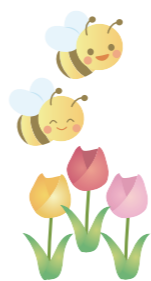
沢山食べて元気いっぱい!

先日行われた、家族意見交換会においても、「食事がとても美味しいと喜んでいきます。」とお声を多数ご家族からいただくことができました。それは、もちろん、職員が愛情たっぷり心を込めて調理した結果であるからともいえるでしょう。



皆さん毎日大満足です!

「食」が満たされることで、気持ちが悪く落ち込んでいても、入居者様は、つい笑顔になってしまいうようです。元気100倍で疲労回復、明日の活力源となっていることは間違いありません。今日もあの賞賛の声が、聞こえてきます。(田村 義宣)



### 岡本福祉作業ホームだより

他施設交流ポッチャ

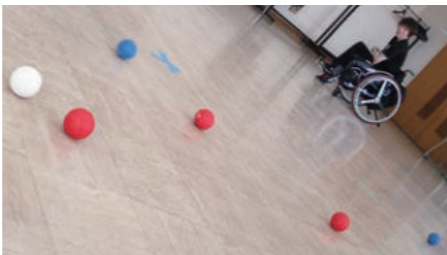
岡本福祉作業ホームでは、障がい者スポーツとして広がりつつあるポッチャを通じて、他施設との交流を深めるべく、交流試合を実施しています。

昨年度行われた交流試合のうち、夏の交流試合は二年前の対戦で準優勝を収めたメンバーを中心に新たな仲間を加えて臨み、激戦のトーナメントを経て二年越しとなる念願の優勝を勝ち取りました。秋の交流試合も接戦の末に結



みんなで頑張り、堂々の優勝

果は惜しくも準優勝でしたが、手に汗握る白熱した試合を繰り広げました。



あの白いボールに向けて、一球入魂

試合中はチーム全員で戦略を練り、「あそこに投げよう」と話し合い、ボールが狙いの所に行くこと「やった!」という歓声に沸いて大盛り上がり。今回の交流試合でもボランテイアの方にサポートして頂き、みんなで充実した時間を過ごすことができました。

来年は「パラリンピック」の開催年であり、ポッチャの機運も高まっています。利用者から「面白かった!」「来年も連覇するぞ!」と声が上がった岡本ホームのポッチャによる他施設交流も、利用者や職員が一丸となって、さらに盛り上がっていききたいと思えます。(山田 瑤太)

### 玉堤分場だより

仕事の流儀紙作業編

分場では、牛乳パックをリサイクルして作るお面や、紙漉きハガキなどの紙製品があります。その材料の紙パルプを作るために、牛乳パックを拭いたり、切ったり、コーティングを剥がしたり...と地道な作業が続きます。繰り返しの作業をする中でも、色々と利用者の皆さんには「こだわり」や「流儀」があるようです。例えば、いつも牛乳パックを丁寧に切るAさんは牛乳パックの種類ごとにきれいに並べ、印刷した文字の大きさをみて、等間隔に切ることができるように工夫していらっしやいます。切ったパックを煮て、柔らかくした後で、コーティングを剥がす作業では、歯科で使われている道具「スクレーラー」を使用します。その持ち手や、先の曲がり具合に微妙な差異があり、お気に入り



牛乳パック整列!



スクレーラーと網

の道具があるようです。牛乳パックを拭くタオルの模様を見て楽しむ方も...。ほんの小さなことの中に工夫や楽しみを見つけたいらっしやるようです。出来上がった紙パルプを石こう型に張り付けて、お面を作られるTさんの道具は、職員がTさんの意見を伺って作ります。網でパルプをすくう量と指で押さえる感覚によってお面の厚さがわかるのだそうです。(半澤 恵理)



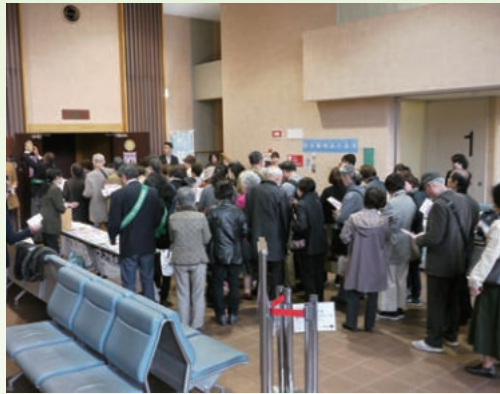
一九七七年十二月三日第三種郵便物認可(毎月二、三、五、六、七の日十八回発行)  
二〇一九年四月二十六日発行(S S K P 通巻第七一五二号)

# 「成城音楽祭」

2019年3月28日(木)に成城ホールにて「第10回成城音楽祭」を開催致しました。

【共催】東京成城ロータリークラブ・泉会後援会いづみ友

【後援】世田谷区・ロータリー財団  
の会・社会福祉法人泉会



大盛況となりました!

今年も多くのの方々にご助力いただき、成城音楽祭を開催することができました。今年には小林五月氏、毛利伯郎氏、徳永二男氏の3名によるピアノ、チェロ、ヴァイオリ

ンの三重奏をご披露いただき、大盛況の演奏会となりました。

今回の演奏曲はモーツァルト、シューマン、ブラームスと古くから親しまれている作曲家たちの作品です。美しい音色が会場内に響き渡り、幻想的な空間へと導かれるようでした。

また、ヴァイオリニストの徳永二男氏は急遽のご出演となりましたが、その様子を全く感じさせないような素晴らしい演奏でした。



素晴らしい演奏でした

第10回という節目を迎えた成城音楽祭ですが、今後も皆様と音楽を通じて素敵な時間を共にできたら幸いです。  
(木村 賢幸)

## 2019年度6月～9月予定表

行事	販売会
6月6日(木)～7日(金) 一泊旅行(泉の家)	6月1日(土) ガーデニングフェア(泉の家)
6月20日(木)～21日(金) 一泊旅行(岡本ホーム)	6月1日(土)～2日(日) 八王子道の駅販売イベント(就労日の出舎)
6月28日(金) お菓子作り(日の出舎)	6月13日(木) 経堂駅構内販売会(泉の家)
6月28日(金) 日帰り旅行(コイノニア)	7月上旬 七夕まつり(泉の家)
7月19日～8月下旬 夏の工作教室(玉堤分場)	7月上旬 砧南中バザー(泉の家)
8月予定 陶芸体験教室(岡本ホーム)	7月6日(土) 桜丘小学校子ども祭り(玉堤分場)
8月24日(土) 納涼祭(日の出舎・就労日の出舎)	8月3日(土) ふるさと区民まつり(泉の家・岡本ホーム)
9月8日(日) 施設公開「Open the Door」(泉の家)	9月中旬 こひつじまつり(泉の家)
9月8日(日) 施設公開まるごとおかもと(岡本ホーム)	9月 ぼんぼんぼん祭り(岡本ホーム)
9月20日(金) 一泊旅行予定(日の出舎)	

＊社会福祉法人 泉会＊

法人本部 泉の家	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番23号 ☎03(3417)3451(代) ☎03(3417)3463 izumi@izumikai.jp	コイノニア かみきた グループホーム こいのにあ	〒156-0057 世田谷区上北沢1丁目32番14号 ☎03(5316)2251 ☎03(5316)2252 koinonia@izumikai.jp
岡本福祉 作業ホーム	〒157-0076 世田谷区岡本2丁目33番24号 ☎03(3415)3366(代) ☎03(3415)4976 okamoto@izumikai.jp	日の出舎 就労日の出舎 相談日の出舎	〒190-0182 西多摩郡日の出町平井3030番 ☎042(597)1451(代) ☎042(597)2205 info@hinodesha.org
相談支援センター おかもと	(岡本福祉作業ホーム内) soudan-okamoto@izumikai.jp	グループホーム のぞみ	〒197-0804 あきる野市秋川2-3-1 ☎042(533)3608 ☎042(533)3609
玉堤分場	〒158-0087 世田谷区玉堤2丁目3番1号 ☎03(5707)9431(代) ☎03(5707)9433 tamatumi@izumikai.jp		

### 編集後記

皆様のあたたかなまごころに後押しされて、日々過ごせていることに感謝します。  
利用者の笑顔がより増えますように。  
日の出舎 川崎

発行所  
〒157-0072  
東京都世田谷区祖師谷3-1-17  
ヴェルドゥーラ祖師谷  
社会福祉法人 泉会  
編集人  
障害者団体定期刊行物協会  
頒布五十円